

『ふう〜…ただい…』

『おかえりっ叔父さんっ♥お小遣いちょうだいっ♪』

『ゆ、ゆんちゃん…』

『数日ぶりに帰ってきたのに
早々にお小遣いって…ダメだよっ!』

『もう使い切っちゃったんだもん』

『ついこの前あげたばかりじゃない?!
それも結構な金額…
ダメだよっ!絶対にダメ!!』

『え〜…いいじゃん
叔父さんのケチいっっ』

おい甥っ子 ジャンキー 中毒

BY 和肌ふぐり

『叔父さん…お仕事大変で最近帰ってこれなかったんだよね…?』

『だいたいライラ溜まってるんじゃない…?』

『いつもみたいに
ゆんが気持ちよくしてあげる…って言ったら…?♥』

『そっそれは…(ゴクっ…)』

『しょーがないなあ〜…』

ズシッ

ナデナデ

『うウツ…
ゆ、ゆんちゃん…ッやっぱり…もうこんなことは…ッ』

『ハイハイ♥』

『毎回それ言ってるけど
こんなカチカチにしながら言われても
全然説得力ないから♥』

『もうせえシぶっこかないと
収まりつかないクセに♥』

『ホントは今日だって
ゆんとエッチなことする
つもりだったんでしょ?♥』

『そっ そんなこと…ッ』

『今日も
金タマ空っぽになるまで
ゆんが気持ちよくしてあげる♥』

『ウウツ…♥』

『ヨチヨチ♥お仕事いっぱい頑張ってエライエライ♥
溜まったせえシ
思いっきりブリブリしまちよーね♥』

『まずはゆっくりゆっくり
先っぽからナデナデしたげるっ♥』

『(うオオ…ッ!!
甥っ子の甘やかし甘々手コキ…ッ
疲れマラにクッソ効くッ…!!)』

『先っちょ♥ペロペロ♥』

『アハッ♥叔父さんホントこれ好きだねっ♥
露骨にチンポ硬くなったよ?♥』

『てゆーか叔父さんもしかして出そうになっでない?
ダメだよ?まだ出したら』

『沢山我慢した方が気持ちいいんだから
ちゃんと我慢しなきゃダメだよ?♥』

『(グッ…おおお…ッッ
鈴〇まわりだけを
集中してっ…ッ)』

『ダ、駄目だ!!
耐えるッ耐えるんだ…ッ!!』
スーハー…

『こんな年下のJS甥っ子に
いいように扱われたら…』
スーハー…

『保護者としての威厳を失うッ
せめて毅然とした態度を…』
スーハー…

『それじゃあ
そろそろ本気でいくからね♡』
グアーン

『…んっ?』

※腹式呼吸

『うッ…オオツッ!!
とっ突然のオオナホコキい!!
それは…ッ!!それは駄目え!!
無理ッ!!ムリムリムリイッ!!』
ズボ

『尿道押しのけてザー汁上がつてさちやううッ!!
出ちゃうッ!!お漏らし射精はダメッ!!
叔父としての威厳が…ッ!!
がっ我慢…ッでき…ッ♡』
ボッ

『出るッ!!出る出る射精るッ!!』
ズボ

『うおおおあぁ…ッ♡』

『ゆんちゃん!!
射精ちやうよお…ッ♡』
ズボ

ズボ

ズボ

ズボ

『ぶあっ……♡
相変わらず叔父さんチヨ……早っ♡(笑)』

『貯めすぎて塊になってるし♡』

『ハア……ハア……ハア……』

『……叔父さん』

『ゆんのが気持ち良かったのはわかるけどさ』

『もう少し我慢できないとオトナとして恥ずかしいよ?』

『年下の甥っ子にちよつと弄られただけで
すぐお漏らし射精しちゃうとか(笑)』

『ウチンポ♡』

『あっ!そっか!』

『こんなんだから叔父さん
彼女できないのかもね♡』

『くっ……!』

『良いように言わせておけば……!』
『けど!これで終わりだ!!』
『こんなことはもう二度と……っ!!』

『ホラっ叔父さん♡いつまでショげてんの?』

『早くこっちでもシよっ♡ゆんのクソ穴マンコハメまくって
叔父さんがザコチンポじゃないところゆんに見せて♡』

『もし叔父さんの嬉しいところ見たら……』

『ゆん、叔父さんのこと見直しちゃうかも……♡』

『あっモチロン追加でお小遣いは貰うけどね♡』

『なっ!しっしないよ!』

『もうお終い!ゆんちゃんも早く服を着て自分の部屋にっ……!』

『えくく?叔父さんのチンポ』

『なんかまた大きくなってきてるけど?』
『そっかあ?シないんだあ?ザンネンだなくく……♡』

『……!』

「ハアッハアッ……!」

「ハアッハアッ……!」

「アッ♥アッ♥
アッ♥」

「あゝあゝ♥」

さっきまではやらないとかカッコつけてたクセに
チョ〜腰フリまっくっでるし♥」

「結局ゆんのことハメるの我慢できないんじゃないんじゃん♥
甥っ子のカラダお金で買うとか
叔父さんサイテーっ♥」

「ち、違うっ!」

これで……これで最後だっ!
今回でっ!

あと一回中出しキメたら!」

「本当に最後だからっ!

だから大丈夫!!

あと一回だけ……ッ!!

あと一回……ッ!!」

パ
チ
ン
パ

「大体っ! ゆんちゃんがいけないんだ!!
JSなのに自分の叔父に身体買わせるなんてッッ!」
「こんなスケベな甥っ子ッ!
ハメない方がどうかしてるじゃないかッ!」

射精ッ♥
中に射精ッ♥

「自分だって中年オヤジに突かれて
トロロテンザ! 汁を
ブランコさせている
ホモガキのクセにッッ!!」

「僕は悪くないッ!

ゆんちゃんのッ!

ゆんちゃんのせいだッッ!!」

ゾッゾッ♥♥♥

ザーメン♥♥♥
お尻おツツ♥♥♥

『んっ♡んっ♡マジでっ♡
何回コけば気が済むのっ？♡このロリコン猿うっ♡』

『(知るかっ!! 今日が最後なんだから…ッ!)
こうなったらトコトシ中出ししてやるウッ!!』

叔父さん♡

チュウして、

チュウしてえっ♡

だっせー♡

だせっ♡♡♡

だっせー
だっせーだっせー
だっせー

『もうっ♡叔父さんみたいな変態にっ
こんなことっ♡してあげるのっ♡
ゆんだけなんだからねっ?♡』



『もし、ゆん以外の娘とっ♡』

ゆん許さないんだからねっ？♡」

Every Day

叔父さんの
千んぽオ……♡

まだまだ
力千力千ッミッ

『絶対につ♡絶対に叔父さんはゆんとだけなんだからねっ♡』

『うオオオッ！ゆんちゃんッ！！』

射精るよお!!今日イチ濃いのがッ!!
射精るよお!!ゆんっ!!イクよおッ!!

お
イ
ク

また
イタ
ク、
↓

イ
ク
イ
ク
イ

クマソウイグマ

『うん♡出してっ♡♡
叔父さんのホモロリコシせえじっ♡♡
ゆんのウンチ穴マンコに出してっ♡♡』



『……うて
なんんか
カッコつけたこと言ってたよね〜♡』

ハァ

『あれから、まだる日しか経ってないけど〜?』

ハァ♡

『あれが最後じゃなかったんだっけ?♡』

『どーして叔父さん
ゆんの部屋でお金握りしめながら
チンポ大っきくしてるの〜♡
サイツツテ〜♡♡♡』

ハァ♡

『目がキラキラしてて
チンポもバッキバキで…
ゆんコワ〜♡♡♡♡♡』

ハァ♡

ハァ♡

ハァ♡

『まっ…♡
叔父さんが
カワイソーだし…♡』

『お小遣いくれるんなら
また…
させてあげようかな…♡♡♡♡♡』

『これで…これで最後…♡』

『今日…今日で最後…
だから…♡』

『あーっ♡♡♡』

『あと…一回だけ
ゆんちゃんと…♡♡』

HAPPY END♡

あとがき

この作品『甥っ子中毒』は
以前に破壊大帝先生 主催の合同誌企画の
『シーメール&メス男子合同誌 C's HAVEN3』
にお誘いいただいた際の作品となります。

フォロー様や支援者様から
支援サイト等での公開に関するご要望をいただき
破壊大帝先生 ご本人からも
作品公開へのご許可をいただけたということで
この度、私の支援サイト等で
改めて作品公開をさせていただきました。

ご要望をくださった皆様や
作品公開に対してご快諾いただいた
破壊大帝先生へ
あとがきの場ではございますが
改めてお礼申し上げます。

和肌ふぐり

感謝の
顔射

顔射

※当作品の内容、テキスト、画像等の無断転載・使用を固く禁じます。

※Unauthorized reproduction or use of the content, text, images, etc. of this work is strictly prohibited.